



新ゴリラ日記



vol.15

2018年7月

* 母親離れ?! *

6月のある日の収容時、モモタロウが大部屋に入ってきた後、ゲンキと共に隣の部屋に入るはずのゲンタロウが、一緒に入ってきてしまいました。これまで何度かこんなことはあったのですが、違ったのはこの後、いつもなら「あっ、間違えた」と、さっと出ていくゲンタロウですが、この日は全く出ていく気がないようでした。焦ったゲンキも大部屋に入ってきて、あらまあ…となった担当者。このままではゲンキとゲンタロウが野菜などの栄養価の高い餌を食べられなくなってしまうので、なんとか2頭を隣の部屋に入れましたが、その後もゲンタロウは、モモタロウのいる大部屋との間の扉をガタガタと揺らして、「開けてくれ〜」とアピールし続けました。

次の日、今度は分かれて餌を食べている間も、ゲンタロウだけは両方の部屋を行き来できるように扉を少しだけ開けておくことにしました。すると予想通り、ゲンタロウは両方の部屋を行ったり来たり…これで大丈夫、と思ったのもつかの間、今度はゲンキが少しだけ開いた扉を自分で閉めてしまいました(^;すると、ゲンキ側にいたゲンタロウはまた、「開けて〜」と扉



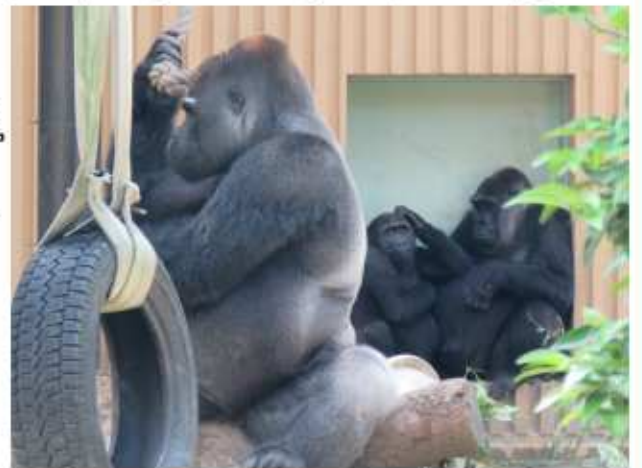
「僕は父ちゃんのほうに行きたいよ〜」

をガタガタ。でも、モモタロウ側にいるときにゲンキが閉めると今度は、「かあちゃ〜ん(´;ω;`)」とばかりに、ヒ〜ンと情けない声を出して焦る始末…モモタロウといたいけど、まだゲンキと分けられるのは不安だそうです(^;めんどくさいやつです…

つづく→

さらに次の日に、ゲンキが扉を閉められないように工夫し、ゲントロウだけが2つの部屋を行き来できる状態を維持できるようにしました。結局、このゲントロウの変化は4,5日で収まり、今は大人しくゲンキと一緒に帰ってきます。おそらく、ゲントロウは母親離れをしようとしているのかなと思いますが、今回はやってみた結果、やっぱりまだ母ちゃんと一緒にいいや、と思ったみたいです (^_^);

この時以来、ゲントロウは両親のいる部屋を自由に行き来できるようにしています。今後のことも考え、モモタロウと2頭でいることに慣れてもらえればと思っています。ゲントロウは、時々モモタロウと一緒に餌を食べたりしています。ゲンキは、ギンなゲントロウのことが心配なようで、時々扉の所に見に行きます。ゲンキも子離れの練習です。きっとこれから、体も心もグングン成長していくであろうゲントロウ。その片鱗が少し垣間見えた数日間でした (*^-^*)



「やっぱりまだ母ちゃんがいいかな♪」

～今回の一枚～

「カエル足のモモタロウ」

なぜか最近よく見る、モモタロウのこのポーズ。以前は、もう少し足を閉じて、足の裏を少し重ねるようにしていました。股関節が柔らかくなったのでしょうか(笑)

グラウンドでもよくやっているの、ぜひ見てみてくださいな♪

